

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 7 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 火災や地震、水害などの災害時に昼夜を問わず地震と防災における協力体制が構築できておらず、全職員がしっかり身につけていない。	地域の方の防災訓練と近隣施設との協力体制を構築する。	地域との協力体制を築く第一歩として近隣施設の職員、利用者様と交流を持つ。情報交換を行い地域、近隣施設を交えた災害訓練を行っていく。	6ヶ月
2	4	○運営推進会議を活かした取り組み 隔月に行政、地域包括、福祉会、近隣施設、御家族の参加をしていただき、活動報告や助言、ご家族様の意見交流会を催しているが、議事録内容が参加されなかったご家族様に繁栄していない。	運営推進会議で話し合われた貴重な意見や話し合いの内容が参加されなかった御家族様も把握でき、関心をより持っていたできるようにする。	隔月で開催されている運営推進会議の議事録内容を、通信の「うなぎのぼり」でお伝えし情報の共有化を図っていく。また、これまで参加されていないご家族へも積極的に参加していただけるよう働きかける。	6ヶ月
3	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできる事を十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化に対する合意形成ができているが、キーパーソンと連携が取れない最悪時の急変対応処置をどうするか明確化されていないので、ご家族に十分な説明をして確認書を作成する。	主旨を御家族に十分に説明したうえで、急変時連携が取れない場合を想定した対応確認書(延命処置)を無理のない範囲で作成していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。